



横浜市立川和中学校 学校だより

川和

1980年(昭和55年)創立



創立30周年記念キャラクター
kawawan

「川和の菊」として有名であった若菊の二枚重ね
学習等に励み、立派な人になる願いを込めて

6月号 令和5年6月26日発行

心のままに

校長 高部 振司

半夏生（はんげ しょうず）

この学校だよりがみなさんの手元に届くころは、一年のうち最も昼間の時間が長い夏至も過ぎ、いよいよ本格的な夏を迎える頃となります。

気温も上がり始める時期です。暑さへの備えは今のうちに。

梅雨入り後の安定しない天気が続く中、体育祭の開催に向け、実行委員の生徒を中心に準備が進められ、一度の順延をはさみ6月13日に第42回体育祭が開催されました。

当日は選手、係生徒、応援がそれぞれ気持ちを込めて取り組み、観ているこちらもつい引き込まれる素晴らしい時間となりました。

保護者、地域の方々の応援も体育祭の大きな力となりました。

閉会式でも伝えましたが、これも生徒のみなさん一人ひとりの取り組み・努力のおかげです。たくさんの場面で感動をいただきことに、心から感謝します。

梅雨の合間の素晴らしい青空のもと、記憶に残る一日となりました。



花植えボランティア「グリーンキーパーズ」の方々に植えていただいた花々。これからさらに美しく咲き、眼も心も楽しませてくれることでしょう。



「体育祭スローガン・Re start～困難を乗り越えた先で～の横断幕について」

○ジャクソン・ボロックの作風から限られた時間で背景を3年部員たちで描き、文字は興水さんにスローガンの意味やワードから勢いを大事に制作してもらいました。（顧問）

○背景については、色のバランスや点の大小にこだわり、勢いのある線を意識するとともに「リアルなスプラトゥーン」のつもりで3年部員の皆で制作しました。途中で色が濁るアクシデントも乗り越え、スローガンの文字につなげました。手足・ジャージ・床をカラフルに汚し、後片付けでは腰を痛めながら頑張りました。（3年部員）

○文字は、一発書き、かつ時間がないと聞き、プレッシャーが大きくありました。仲間の励ましや先生方の応援もあり、一画一画書くごとに「おおー!」「いいね!」と声をかけていただき、完成後もさまざまな場面で宣伝してもらい、大変だった分、今は周りの人たちに感謝しかありません。（3年文字担当・興水彩羽）